

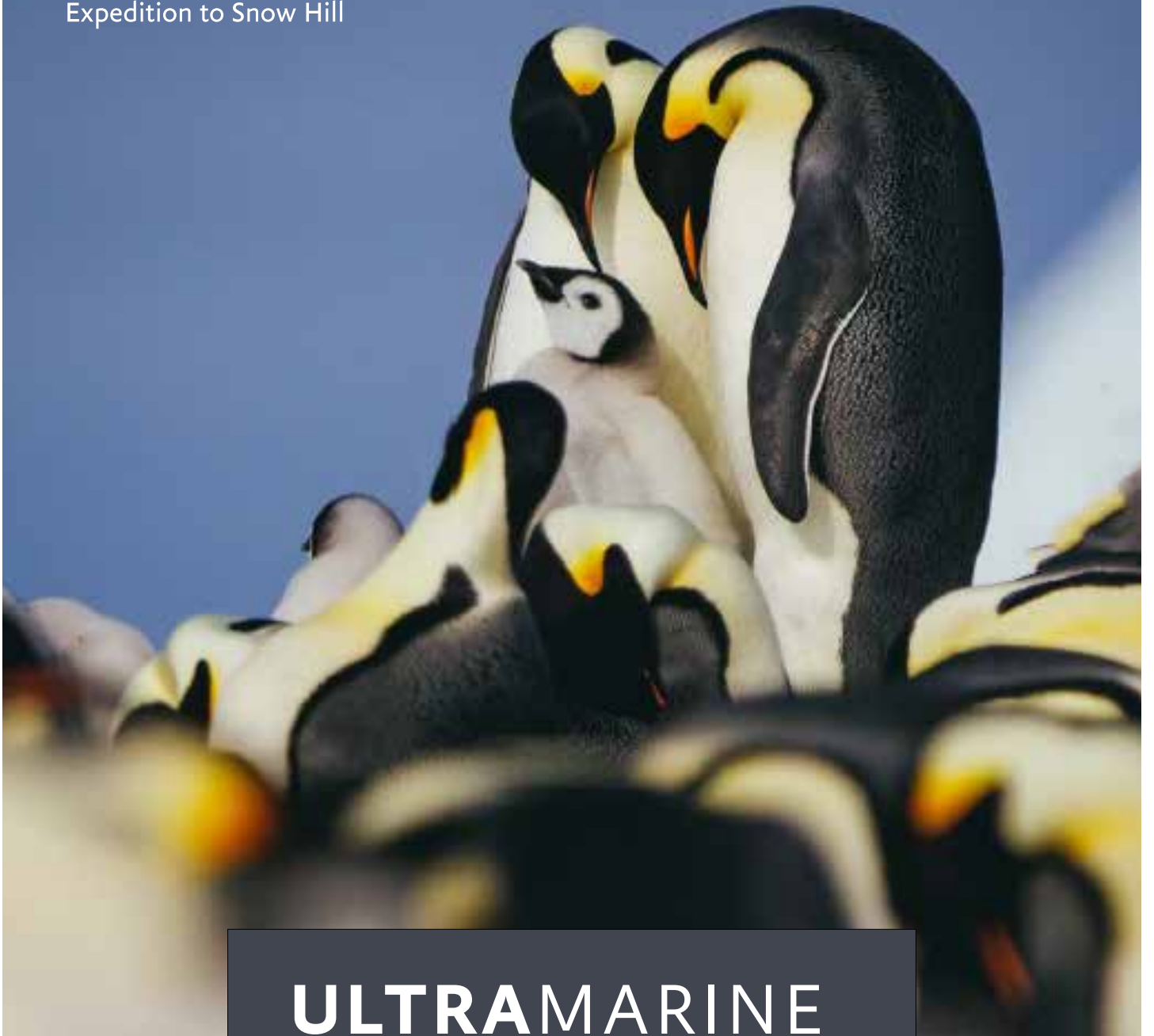
ANTARCTIC 2023.24

スノーヒル島

コウテイペンギンの営巣地を訪ねる旅 14 日間

EMPEROR PENGUIN QUEST

Expedition to Snow Hill



ULTRAMARINE

DESIGNED TO GO BEYOND

目次 Contents

1	概要	Overview
2	行程	Itinerary
5	到着と出発の詳細	Arrival and Departure Details
7	利用客船ウルトラマリンの紹介	Your Ship: <i>Ultramarine</i>
9	クルーズ代金に含まれている船外活動	Included Activities
10	アドベンチャー・オプション	Adventure Options
11	出発日とクルーズ代金	Dates and Rates
12	含まれるもの、含まれないもの	Inclusions and Exclusions
13	エクスペディション・スタッフ	Your Expedition Team
14	旅行を延長して楽しむ	Extend Your Trip
15	船内の食事	Meals on Board
16	代替の上陸観光地	Alternative Landing Sites
17	極地旅行に必要な持ち物	Packing Checklist



概要 Overview

Emperor Penguin Quest: Expedition to Snow Hill

2004年、クォーク社は南極・スノーヒル島近くにある遠く離れたコウテイペンギンの営巣地を世界で初めて訪れるという極地の歴史を塗り替えました。真の探検精神と長年にわたる極地の専門知識に支えられた私たちのチームはウェッデル海の大量の氷と厚い卓上冰山を航行し、8,000番のコウテイペンギンが繁殖していると言われる伝説の営巣地を訪れました。この場所は地球上で最も特別な野生生物の観察場所のひとつとなっています。2004年の訪問から約20年、私たちは再びスノーヒル島のコウテイペンギンを訪ね、感動的な体験へご案内します。

当社の新造船ウルトラマリナーに搭載されている2機の双発ヘリコプターで、めったに訪れることのできない営巣地の近くまでお客様を運ぶことができます。そこは分厚い海氷を横切って歩くコウテイペンギンの姿を間近でご覧いただける真の極地探検を体験してください。「ペンギンの行進」やBBCの「フローズンプラネット」を彷彿させる光景をお楽しみいただけるでしょう。氷の上をトボトボと歩いて海へ向かうコウテイペンギンの姿を想像してみてください。そんな野生生物の瞬間は言葉では言い表せないほど貴重なものです。

EXPEDITION IN BRIEF



何千羽ものコウテイペンギンとそのヒナの営巣地を目指す、探検家精神にあふれた旅。



スノーヒル島付近で5日間を過ごし、営巣地ツアーの参加やウェッデル海での特別な体験に没頭します。



新造船ウルトラマリナーで、サウナや船内の様々なアメニティをお楽しみください。



定員150名の小型耐氷船で、親密な旅をお楽しみください。



追加のスタッフも加わり4名のお客様に対し1名のエキスペディション・スタッフを配置。



船内では極地の専門家による充実した極地講座を実施。



ヘリコプター遊覧やゾディアック・クルージングで南極半島のユニークな景観をお楽しみいただけます。



行程 Itinerary

1日目 | アルゼンチンの ブエノスアイレスに到着

建築とヨーロッパの豊かな文化遺産で知られるこの魅力的な街に到着し、クォーク社指定のホテルへ直接お越しください。(この日の宿泊はトランスファーパッケージに含まれています)。

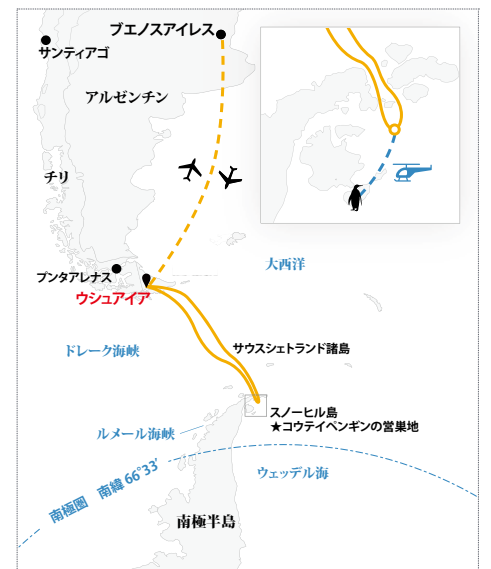
2日目 | ブエノスアイレス発→ ウシュアイア着 / 乗船 / 出港

ホテルで早めの朝食をとった後、団体送迎バスで空港へ移動し、アルゼンチンのウシュアイアへのチャーター便に搭乗します。ウシュアイアに到着後、空港から町の中心部に移動し、乗船前に趣のある世界最南端の都市ウシュアイアの

散策をお楽しみいただけます。夕刻に乗船し、南米最南端にあるティエラ・デル・フエゴ諸島を横断する歴史的なビーグル水道に沿って航海します。出港時の風景を楽しんでください。次に見る土地は南極です！

3~4日目 | ドレーク海峡横断クルーズ

太平洋、大西洋、南極海の合流点にある天候の予測が難しいエキサイティングなドレーク海峡は、それ自体が冒険です。船内の専門スタッフとエクスペディション・チームのプレゼンテーションや交流、広大な海を眺めたり、船の周りを急降下する海鳥の写真を撮ったり、他の旅行者と知り合うための十分な時間があります。



EMPEROR PENGUIN QUEST
Expedition to Snow Hill

- ウルトラマリン航路図
- - - チャーター機
- 停泊予定地
- 🐧 コウテイペンギンの営巣地

5日目 | ウェッデル海に向けて航海

船内では世界的に著名な専門家によるプレゼンテーションが行われ、100年前に未知の世界に挑んだ勇敢な極地の英雄たちの姿を解説します。また、氷に覆われた地に住むコウテイペンギンについても学び、極地への知識を豊かにします。

6~10日目 | ウェッデル海とスノーヒル島上陸観光

スノーヒル島への旅は、船長とエクスペディション・リーダーが天候や気象、海氷の状態についての最新情報を提供し皆様を探検家の気分へと導きます。氷の厚さによって耐氷船ウルトラマリンがスノーヒル島にどれまで近づくことができるかが決まり、その後には双発ヘリコプターに乗り換えます。

ベースキャンプから登山をするのと同じように、私たちはウルトラマリンからコウテイペンギンの営巣地に向かって出発します。この船外活動はヘリコプターで移動しながら雪に覆われた山々や巨大な卓上冰山を見ることから始まります。スノーヒル島南岸の海氷上にある営巣地にできる限り近い場所で着陸しますが、ペンギンの邪魔にならないように安全な距離を保ちます。着陸後、私たちは氷の上を歩いて伝説のコウテイペンギンの営巣地まで歩きます。ペンギンが歩いた雪の中の小道の隣を歩いていくと、遠くからペンギンの鳴き声が聞こえてきます。地球上で最も希少な野生生物の1つ、めったに見られない数千羽ものコウテイペンギンの営巣地を見学します。

この探検クルーズの目標はすべてのお客様を遠隔地の営巣地へご案内することです。エクスペディション・

チームと特別な専門家が同行し、お客様の質問にお答えし、見るべきものをすべて見ていただけるようにしています。コウテイペンギンが結核の固いコミュニティとしてどのように行動し、どのように子供たちの世話をするか、そして風変わりでありながら効率的な方法で氷の上を移動するボディサーフィンを間近で観察します。皇帝ペンギンを探すヘリコプター探検は一生に一度の冒険かもしれません！

エクスペディション・チームと共に気配りの行き届いたウルトラマリンを拠点にしながら、ウェッデル海の極地体験に毎日没頭します。ゾディアッククルーズで冰山を探検や、氷の上で冒険や学習、パドルオントップカヤック、チームと一緒に天気予報や船の運航を間近で見たりと、毎日のアクティビティは盛りだくさんです。

特にこの探検クルーズのために特別に作られた教育プログラムは、この魅力的な地域について学ぶための伝統的な（講義形式）と実践的な機会の両方を提供し、この旅行で極地の知識をより深く取り入れることができるでしょう。ペンギン学者、生物学者、極地の歴史家を含む極地の専門家が、コウテイペンギンとその行動、船のデッキから眺める卓上冰山の形、100年以上前ウェッデル海に挑戦した探検家の歴史など、様々な角度から講義が行われます。さらに、氷の海に飛び込むポーラープランジやスタンドアップ・パドルボードでバランス感覚に挑戦することもできます。あるいはスパ、サウナ、フィットネスルームなど充実した設備が整っているウルトラマリンの船内でちょっと贅沢な気分を味わうのもいいかもしれません。

スノーヒル島のコウテイペンギンの

営巣地を訪れることがこの探検クルーズの目標ですが、天候や氷の状態により営巣地を訪問できない場合や、訪問期間が短くなる場合は、他の場所を探索することがあります。南極で上陸観光を行う可能性がある場所は南極半島の東側です。ここは横断山脈の延長線上にあり、南極大陸で最も北に広がっている場所でもあります。

※これらの南極上陸候補地の詳細については16ページを参照してください。



EXPEDITION SPIRIT (探検の精神)

予期せぬ事態を受け入れることは探検クルーズの伝統と興奮の一部です。航海中、エクスペディション・チームは海、氷、天気を考慮して航路と旅程の詳細を決定しなければなりません。この旅程は、この探検クルーズで体験できることの概要を提案するものであり、特定の旅程を保証するものではありません。スノーヒル島の隔絶されたコウテイペンギンの営巣地の訪問を予定していますが、保証されたものではありません。

エクスペディション・チームは南極での豊富な経験を活かして、スノーヒル島に向かう途中でさまざまな野生生物や冰山を見ることができるよう工夫を凝らします。

11~13日目 |

ドレーク海峡横断クルーズ

ドレーク海峡を渡りウシュアエアへ戻る旅は、爽快な南極海の空気を満喫できる最後のチャンスです。デッキで海鳥やクジラを観察したり、エクスペディション・スタッフによるプレゼンテーションを楽しんだり、南極での素晴らしい体験を共有してお祝いします。

14日目 | ウシュアエア入港 / 下船 →ブエノスアイレスへ

朝、ウシュアエアに到着し、朝食後に下船します。

トランスファーパッケージにはパタゴニアを味わうためのティエラ・デル・フエゴ国立公園の観光が含まれています。その後、チャーター便にてブエノスアイレスへ移動します。

ウルトラマリンはこのような探検のために 建造されました

- › この探検クルーズではウルトラマリンのユニークな設計と探検に特化した性能を最大限に活かすことができます。
- › クラス最高の H145 双発ヘリコプターは航続距離と乗客定員を増やし、短時間でお客様を上陸地へ輸送することができます。当社のヘリコプターには野生生物への影響を最小限に抑えるため、騒音低減技術が搭載されています。
- › ウルトラマリン 1A+ PC6 のアイスクラスを誇り、南極の様々な海域や氷の状態を安全かつ確実に航行できるため、南極の遠隔地へ進出することが可能となりました。
- › ソディアック格納庫を海面と同じ高さに設置したことにより、ソディアック・クルージングを従来よりも迅速な展開が可能になり、お客様の体験を豊かにし、ウェッデル海での時間を最大限に活用できるようになりました。





到着と出発の詳細

Arrival and Departure Details

旅行の準備をする中で、現地の到着と出発の詳細について興味を持たれるかもしれません。アルゼンチンまでの国際線はクルーズ代金に含まれていないため、航空機の計画にある程度の柔軟性があります。極地探検以外の観光もお考えですか？ 14 ページではブエノスアイレスの集合前または解散後、あるいはその両方の観光を追加する方法についてご紹介します。

到着日から乗船まで

ブエノスアイレス到着日と翌日の予定について

ブエノスアイレスに到着後、当社指定のホテルへ各自で移動してください。12時から20時までの間にプレゼンテーションルームへお越しください。荷物の計量と荷札付けが行われます。また、クォーク社の担当者が翌日のチャーターフライトと乗船に関する情報をお伝えし、お客様の質問にお答えいたします。翌朝の早めの朝食の後、団体送迎バスで空港に移動し、世界最南端の都市ウシュアエアへのチャーター機に搭乗します。

ウシュアエアと乗船について

日程の2日目、ウシュアエアに到着後、空港から団体送迎バスで棧橋近くの再集合場所へ移動します。再集合場所で解散後、この趣のある港町を自由に散策ください。午後4時頃に再集合し、バスで乗船場所へ移動します。



<ご注意>

ブエノスアイレス～ウシュアエア間のチャーターフライトでは、受託手荷物 23kg、機内持ち込み手荷物 8kg と厳格な重量制限が設けられています。重量を超える荷物がある場合は、ブエノスアイレスのホテルでお預かりします。超過手荷物料金を支払って運ぶことはできません。

最終日と帰路

ウシュアイア下船

船は午前7時から8時の間にウシュアイアの棧橋に到着する予定です。朝食後、エクスペディション・チームに別れを告げ下船します。下船までには約1時間かかります。

下船後、ブエノスアイレスへのチャーター便に搭乗する前にティエラ・デル・フエゴ国立公園のショートツアーが含まれています。(このツアーはトランスファーパッケージに含まれています)

ブエノスアイレスからの出発

ブエノスアイレスには午後5時にエセイサ国際空港(EZE)に到着しますので、帰国便に乗り継ぐことができますが、少なくとも3時間以上の余裕をお持ちください。また、エセイサ空港から午後9時以前に出発する便は予約しないことをお勧めします。

引き続き南米の旅行を計画している場合は、予約前にフライトスケジュールを確認して接続を確認してください。ブエノスアイレスに到着したら、

エセイサ国際空港(EZE)から国内空港のアエロパルケ(AEP)への移動が必要になる場合がありますが、通常の交通状況であれば車で約1時間の距離にあります。探検クルーズ最終日に空港間を移動する必要がある場合は、効率的な空港シャトルサービスであるティエンダレオンまたはレミース(空港内で予約する前払いタクシー)がお勧めです。

ご希望があればクオーク社が専用車の送迎を手配することもできます。交通渋滞によって移動時間が長くなる可能性があるため、ブエノスアイレスの各空港を発着する便は、移動、チェックイン、セキュリティチェックの時間を考慮して少なくとも5時間以上の間隔を空けておくことをお勧めします。

また、安全な旅行をお楽しみいただくために、ブエノスアイレスでもう1泊ホテルを予約することをお勧めします。

ホテル宿泊に含まれているもの

旅程の1日目に含まれている宿泊施設のホテル名は最終書類でご案内いたします。旅程1日目よりも前に到着する場合、または最終日以降に滞在する場合で、前泊または後泊の予約についてサポートが必要な場合は、ご希望の旅行代理店またはクオーク社にホテル手配についてお問い合わせください。宿泊施設には限りがありますので延泊を希望されるお客様は、できるだけ早くお申込みください。

到着と出発時の送迎

ブエノスアイレスの空港送迎

旅程1日目のブエノスアイレス空港からホテルまでと最終日のホテルから空港までの送迎は含まれていません。

送迎手配をご希望のお客様は少なくとも30日前までにクオーク社へご連絡ください。その際にフライトの詳細もお知らせいたしますようお願いいたします。



<ご注意>

アルゼンチンでは天候による遅延や航空会社のスケジュール変更が発生することで知られています。クオーク社は不測の事態による遅延については責任を負いかねますので、予約変更が可能な航空券の購入をお勧めします。





利用客船 Your Ship

新造船ウルトラマリン

ウルトラマリンは極地探検船の常識を超え、新しい場所を発見し、この地域が提供する最高のものにご案内できるよう設計されたクォーク社の船隊の中で最も新しい探検船です。

2機の双発ヘリコプターを搭載したウルトラマリンは、業界で最も充実した船外活動のポートフォリオを提供し、このカテゴリで最も広々とした客室、すばらしい公共スペース、他の同サイズの探検船よりも多くの屋外野生生物観察スペースを備え、あらゆる業界標準を上回る革新的な持続可能性機能を組み合わせています。

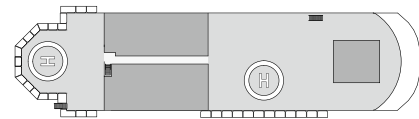
ウルトラマリンは究極の極地探検クルーズを実現するために設計されています。

シップデータ

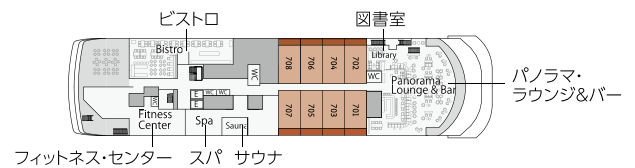
スタッフ&乗組員: 140 名
 乗客定員: 150 名
 救命ボート: 4 艇 (完全密閉)
 アイスクラス: PC6

デッキプランの詳細は[クルーズライフのホームページ](#)をご覧ください。

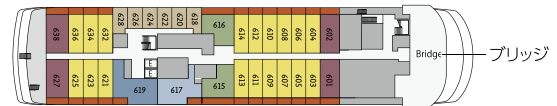
8
デッキ



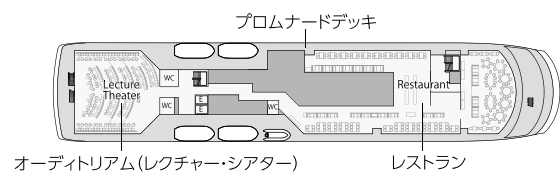
7
デッキ



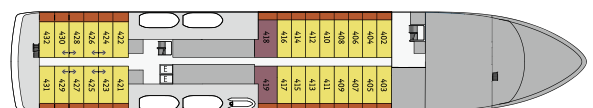
6
デッキ



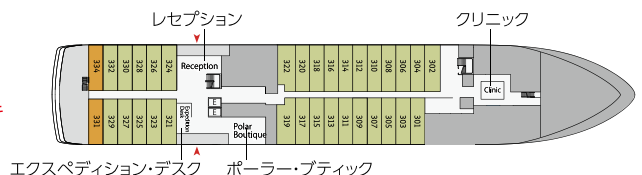
5
デッキ



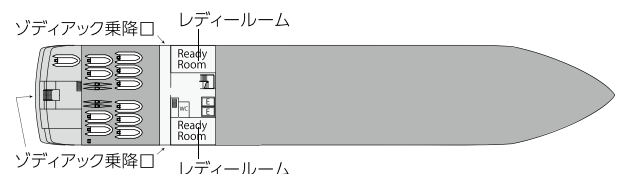
4
デッキ



3
デッキ



2
デッキ



ソロパノラマ(シングル)	エクスポーラートリプル	エクスポーラーズイート
バルコニーズイート	デラックス・バルコニーズイート	テラスズイート
ペントハウスズイート	オーナーズズイート	ウルトラズイート

↔ は、コネクティングズイートを表しています。



Deluxe Balcony Suite



Sauna



Panorama Lounge



Fitness Center



Balena Restaurant



含まれている船外活動 Included Activities

船外での冒険の準備はできていますか？ クォーク社の各探検クルーズでは、極地での体験をより充実したものにするために様々なレクリエーション活動を提供しています。このコースでは以下のアクティビティに加えて、ペンギン営巣地へのヘリコプターフライトも含まれています。

遊覧飛行

極地の風景は海から見ても素晴らしいですが、空から見るとより一層印象的です。ウルトラマリンでは10～15分の遊覧飛行がクルーズ代金に含まれており、空からの絶景をお楽しみいただけます。

ゾディアック・クルージング

ゾディアック（頑丈なエンジン付ゴムボート）は極地観光で主力の移動手段で、探検船がアクセスできないような場所に行くことができ、遠く離れた海岸線や浅い入り江を探索し、ユニークな野生生物を探します。エキスペディション・スタッフはゾディアックの乗下船を安全にご案内し、ゾディアック

クドライバーとして活動中に様々な解説を行い、クルージング風景をより生き生きとしたものになります。

ハイキング

南極でのハイキングは自由形式で、専門スタッフの指導の下、各上陸地点に境界線となる小道を設定し、その範囲内で自由に散策することができます。ハイキング中、スタッフはその地域の野生生物、歴史、地理についての質問にお答えし、お客様の知識をより深めることができます。

プレゼンテーション

極地の歴史、生物学、鳥類学、氷河学、地質学など各分野の専門家をはじめ、極地の魅力を伝えるエキスペディションガイド、写真ガイド、その他の特別ゲストが船内で解説するプレゼンテーションを毎日お楽しみいただけます。

ポーラー・ブランチ

南極の海へ飛び込む記念イベントは探検クルーズ中に1回だけ予定しています。スタッフの監視下で安全に飛び込む自由参加イベントです。

写真撮影

探検クルーズの思い出を写真に残すことは実りある体験です。写真ガイドが極地の美しさを撮影するための技術を磨くお手伝いをします。

含まれている船外活動やアドベンチャー・オプションに必要な経験、身体的要件、費用など詳細についてはお申込みの旅行会社またはクォーク社のアドバイザーにお問合せください。



アドベンチャー・オプション Adventure Options



✕ パドリング・エクササイズ

カヤックに興味はあるけれど、シーカヤックより少しハードルの低いものに挑戦してみたいという方には、安定したシットオントップカヤックで1回限りのパドリングが最適です。カヤックの経験は必要ありません。穏やかな日に少人数でカヤックを漕ぎます。専門のガイドが常に立ち会い、極地の海と関わり方を指導します。2つの優先グループのいずれかに事前予約してください。その後のツアーは船上で予約することができ、抽選でグループが割り当てられます。

🏄 スタンドアップ・パドルボード

サーフボードとカヤックを組み合わせたスタンドアップパドルボードは非常に個人的でユニークな視点で南極を見ることができます。天気の良い穏やかな湾や港で安全なゾディアックを並走して少人数で行われる1回限りのアクティビティです。2つの優先グループのいずれかに事前予約ができます。その後は船上で予約することができ、抽選でグループが割り当てられます。

<ご注意>

すべての有料アクティビティは事前予約が必要です。人数に限りがあるため早めに予約することをお勧めします。各アドベンチャー・オプションで提供される道具リストについては出発前のガイドを参照してください。



出発日とクルーズ代金

Dates and Rates

Emperor Penguin Quest: Expedition to Snow Hill

ULTRAMARINE

日程	日数	集合地/解散地	ソロ パノラマ	エクスプローラー トリプル	エクスプローラー スイート	バルコニー スイート	デラックス バルコニー スイート	テラス スイート	ベントハウス スイート	オーナーズ スイート	ウルトラ スイート
ANTARCTIC 2023.24											
2023年11月12日~11月25日	14	ブエノスアイレス	\$44,995	\$27,995	\$33,995	\$37,995	\$43,995	\$46,995	\$49,995	\$59,995	\$64,995
2023年11月24日~12月7日	14	ブエノスアイレス	\$44,995	\$27,995	\$33,995	\$37,995	\$43,995	\$46,995	\$49,995	\$59,995	\$64,995

日程	日数	集合地/解散地	トランスファー パッケージ	✕	🚰	🚰
ANTARCTIC 2023.24						
2023年11月12日~11月25日	14	ブエノスアイレス	\$995	\$295	\$295	含まれています
2023年11月24日~12月7日	14	ブエノスアイレス	\$995	\$295	\$295	含まれています



含まれるもの、含まれないもの Inclusions and Exclusions

含まれるもの

クルーズ代金に含まれるもの:

- ・海岸への上陸やその他の活動など経験豊富なエキスペディション・チームによる航海中のリーダーシップ
- ・デイリープログラムに基づいた上陸観光
- ・船内での宿泊とハウスキーピング
- ・航海中の全食事とスナック、ソフトドリンク、ジュース。
※ソフトドリンクとジュースは、レストランでの食事中に無料で飲みいただけます。
- ※食事制限があるお客様は事前にお知らせ願います。残念ながら、船内の調理室ではユダヤ教徒用の特別食コーシャミールは用意出来かねます。
- ・夕食時にはクォーク社指定のビールとワインを無料提供します。コーヒー及び紅茶、ココア、飲料水を24時間ご利用いただけます。

- ・エキスペディション・チームやゲストスピーカーによるプレゼンテーション。
- ・探検クルーズを記録したフォトグラフィック・ジャーナル。
- ・探検クルーズ中に必要なゴム長靴の無料貸出。
- ・クォーク社特製の防寒・防水・防風性のバルカの進呈。
- ・各客室にヘッドライヤーとパスロープの貸与。
- ・探検クルーズ中のすべての港湾税や諸税。
- ・船内での荷物のハンドリング
- ・お一人様あたり、最大50万米ドルの緊急避難保険（個人的な保険ではありません）
- ・10～15分のヘリコプターフライト遊覧飛行1回（天候と機材の状況が許す限り）

必須のトランスファーパッケージには以下のものが含まれます

- ・1日目ブエノスアイレスでのホテル1泊（朝食付き）（注：1部屋あたりの宿泊人数は、船内客室の人数と同じです。ホテルの客室数が限られているため、船内でスイートを予約したお客様もホテルはスタンダードルームでの宿泊となります。ホテルはトリプルルームをご利用いただけない場合があります）
- ・ブエノスアイレスのアエロパルケ空港（AEP）からウシュアイア、ウシュアイアからブエノスアイレスのエセイサ国際空港（EZE）のチャーター便

- ・ブエノスアイレスのホテルから空港への団体送迎
- ・ウシュアイア空港から船へ、および船からウシュアイア空港までの団体送迎（注：1日目ブエノスアイレス空港からホテルまでの送迎はありません。お客様ご自身でお越しくたさい）
- ・ウシュアイア下船後のティエラ・デル・フエゴ国立公園のショートツアーと空港送迎

トランスファー・パッケージ料金：US\$995

含まれないもの

クルーズ代金には含まれていません:

- ・必須のトランスファーパッケージ*
- ・国際線の航空運賃
- ・パスポート取得手続費用とビザの費用
- ・国際線の空港税や燃油サーチャージ
- ・日程に明示されていない陸上での食事代
- ・海外旅行保険（手荷物、キャンセル、中断、医療旅行保険等）
- ・航空機の超過手荷物料金
- ・ゾディアックボートの利用や船外活動に必要な防水性のズボン
- ・ランドリー、バー、スパサービス、その他の個人的な費用
- ・電話やインターネットなどの通信費（接続は場所によって異なる場合があります）
- ・エキスペディション・スタッフや乗組員への船内チップ
- ・陸上での追加の宿泊代
- ・1日目ブエノスアイレスの空港からホテルまでの送迎
- ・有料のアドベンチャー・オプション

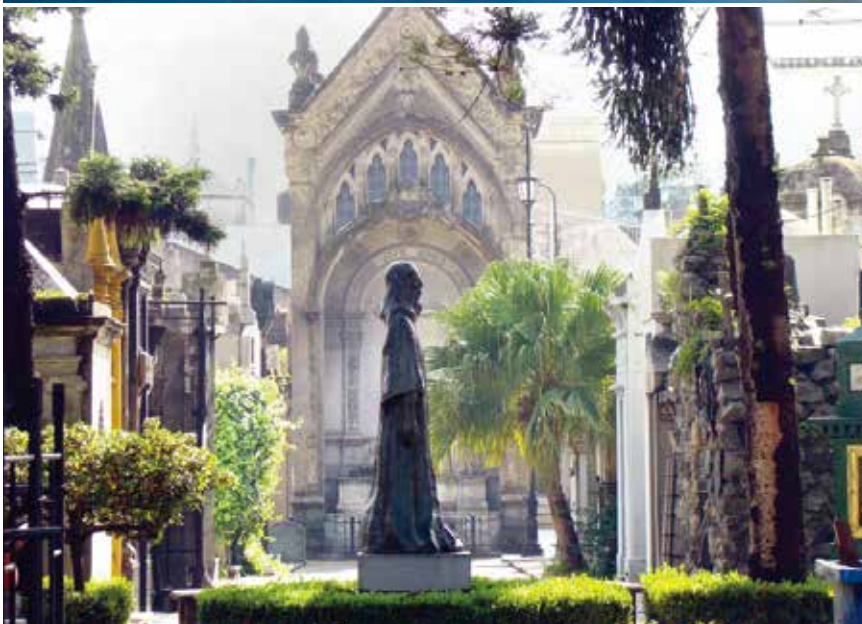


エクスペディション・チーム Your Expedition Team

当社のエクスペディション・リーダーとそのチームは極地の歴史、海洋生物学、氷河学、鳥類学、写真など、さまざまな分野の専門知識を持っています。彼らの知識と熱意がお客様の極地への没入感を高め、南極とのつながりがさらに深まることでしょう。

30年以上にわたってお客様を極地へご案内してきた経験と、業界屈指のスタッフとおお客様の比率を誇る当社は、予期せぬ事態に安全に対処する方法を知っています。この経験を確実に受け継がれるように、すべてのエクスペディション・スタッフはクォークアカデミーで包括的なトレーニングを受けています。このトレーニングではスタッフが初めて探検クルーズに参加する前に極地探検の実地研修を行い、経験豊富なスタッフには継続的なトレーニング行っています。





旅行を延長して楽しむ

探検クルーズ前、 または下船後の旅行を楽しむ

せっかく長距離を移動してきたのだから、ブエノスアイレスでもっと時間を過ごしたいと思いませんか。世界のタンゴの中心地として知られるこの魅惑的な都市では、さまざまなツアーパッケージが用意されています。市内観光、タンゴショーの他、レコレータ、パレルモ、サントルモの個性的な地区を散策するなど、盛りだくさんの内容です。

ステーキハウス（パリージャ）でアルゼンチンバーベキューを堪能した後は、並木道を散歩して歴史的建造物に圧倒されるでしょう。ブエノスアイレスからイグアスの滝へのツアーに参加し大胆にも滝の上のキャットウォークを歩いてみてはいかがでしょうか。

旅行を追加する場合の最適なオプションをお探しの場合は旅行代理店またはクォーク社へお問合せください。

FROM TOP: Iguazú Falls; Recoleta Cemetery; Argentinean asado (barbecue)



船内の食事 Meals on Board

船内では毎日美味しいお食事をお楽しみいただけます。上陸観光や野生生物との遭遇により食事の時間は変更になることもありますが、1日3食しっかりと準備された食事が提供されます。食事制限のあるお客様は出発前にお知らせいただければ対応できます。

通常、朝食と昼食はビュッフェスタイルで提供され、夕食はコースで提供されます。アラカルト料理はご注文を受けてから作るため、シェフが個々のニーズに合わせて調理し、探検クルーズ中も最高品質の食事を提供いたします。

食事中やバー営業中はソフトドリンクやジュースを、夕食時にはビールやワインを、またコーヒー、紅茶、飲料水は24時間いつでもご利用いただけます。これらはすべてクルーズ代金に含まれています。スピリッツ、プレミアムワイン、シャンパンは別料金で、お客様の船内アカウントに請求させていただきます。船内の品揃え豊富なバーで朝、昼、晩に仲間と一緒に楽しむことができます。





代替の上陸観光地 Alternative Landing Sites

ブラウンブラフ (BROWN BLUFF)

火山岩の巨大な崖であるブラウンブラフは、アデリーペンギンとゼンツーペンギンの営巣地を見下ろすようにそびえ立つ火山岩でできた678m断崖。営巣地では卵からの孵化が見られるかもしれません。

デビル島 (DEVIL ISLAND)

スウェーデン南極探検隊(1901-04年)が発見した長さ1.6kmで両端に低い山頂を持つ狭い島です。

ホープ湾 (HOPE BAY)

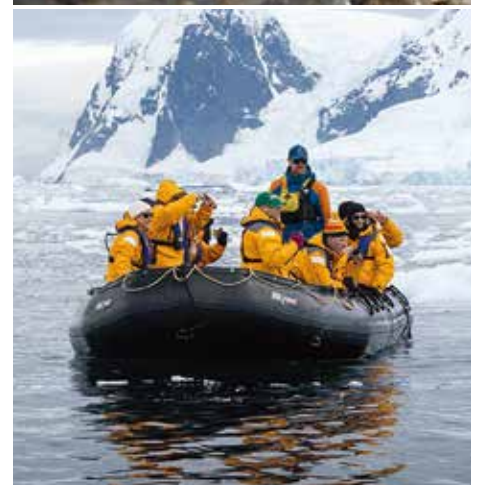
スウェーデン南極探検隊(1901-04年)の3人のメンバーは、ホープ湾の海岸にある小屋で越冬しました。この小屋はアルゼンチンの研究拠点であるエスペランサ基地の桟橋の近くにあります。

ポーレット島 (PAULET ISLAND)

ウェッデル海の北西に位置するポーレット島にはアデリーペンギンの大規模な営巣地があります。標高353mの火口丘があり、かつてこの島が非常に活発な地形であったことを思い出させます。ペンギンに加えて、スウェーデン南極探検隊(1901-04年)のメンバーによって建てられた歴史的な小屋を訪ねてみるのもよいかもしれません。乗組員のオーレ・ウェンナースガードの墓は十字架が目印です。

シーモア島 (SEYMOUR ISLAND)

スノーヒル島の北東にある小さな島で、もともとは岬と間違えられていました。シーモア島は白亜紀(恐竜と爬虫類)と紀元の第三紀(哺乳類)の地質時代の移行を示すKT境界の跡があり化石の発見で重要な場所です。この時代は恐竜をはじめとする多くの生物が大量に絶滅したことで知られています。



極地旅行に必要な持ち物

What to pack on your polar expedition

持っていくもの! 荷造りが大変にならないためにクォーク社ではすべての探検クルーズに特製のパルカを進呈し、防水性のゴム長靴を無料で貸出いたします。

その他の推奨アイテムは以下の通りです。

上陸観光時に着用するもの

- トップのベースレイヤー（ウールまたは合成繊維）
- ボトムベースレイヤー（ウールまたは合成繊維）
- トップのミッドレイヤー（保温素材またはフリース素材）
- ボトムミッドレイヤー（保温素材またはフリース素材）
- 暖かいウールまたは合成繊維の靴下（乾いた靴下をバッグに入れて、重ね履き用に余分に持参してください）
- グローブライナー
- 防水性の手袋またはミット（予備を持参してください）
- スカーフ、バフ、またはその他の顔の保護するもの
- 耳を覆う暖かい帽子（予備を持参してください）
- 防水パンツ（ゾディアックボートの乗船に常に必要です）
- 防水性のある軽量のバックパックまたはドライサック
- UVカット付き偏光サングラス（予備を持参してください）
- スキー用ゴーグル（雪や風の強い日のアドベンチャー・オプションやゾディアック・クルージングに最適です）
- 日焼け止め
- リップクリーム

乗船中に着用するもの

- 無料のクォーク社特製のパルカをお配りします（デッキではそのまま着用し、屋内では取り外し可能なインナーを着用して快適に過ごしていただけます）
- 薄手のシャツ、ズボン、ジーンズなどの快適なカジュアルウェア（船内が暖かくなった場合に備えて）
- 歩きやすい滑りにくい靴（安全上の懸念から、ビーチサンダル、サンダル、スリッポンシューズは船内で履かないでください）

Scan this QR code to watch our video on what to pack before you go!



気象条件と気温について

極地の天気は非常に変わりやすく、気温は氷点下で推移し風が強く吹くことがあります。日照時間が長いいためTシャツで過ごせるほど暖かくなることもあります。しかし、探検クルーズ中に雨、吹雪、霧、ホワイトアウトに遭遇することもありますので、どんな状況にも対応できるように準備しておく必要があります。

追加のアイテム

- 水着（ポーラープランジ用！一部の船にはプール、ホットタブ、サウナ、スチームルームを備えている場合があります。詳細については船内案内をご覧ください）
- 乗船まで下船後の旅行中に羽織る薄手のジャケット
- トレーニングウェア（フィットネスセンター用!）
- 双眼鏡
- 手足用のカイロ
- カメラと充電器、予備のバッテリー
- 予備のメモリーまたはノートパソコン（写真保存用）
- 携帯電話用の防水ケースまたはレインスリーブ
- カメラ用レンズクロス
- 睡眠用の耳栓とアイマスク
- 電圧変圧器、プラグアダプター（詳細は船内案内を参照）
- 携帯電話、時計、目覚まし時計などのアラーム類
- 顔や手に塗る保湿剤（極地の空気は乾燥しています）
- 予備の眼鏡またはコンタクトレンズ
- 再利用可能な防水バッグまたはジッパー付きビニール袋（小物の整理やカメラ濡らさないようにするため）
- 酔い止めの薬、胃薬、頭痛薬、その他の薬
- 消毒液
- パスポート、ビザ、予防接種の記録、渡航書類など（必要に応じて）
- 少額の現地通貨（詳細については、出発前インフォメーションを参照してください）
- 水筒（折りたたみ式の再利用可能な水筒を船内で提供いたします）



The Leader in Polar Adventures

お申込み、お問合せ



株式会社クルーズライフ

〒 104-0032

東京都中央区八丁堀 4-10-8 第 3SS ビル 303

TEL : 03-6228-3981 E-mail : contact@cruiselife.co.jp

PHOTO CREDITS (over all Expedition Brochures for the Antarctic 23.24 season):

Acacia Johnson; David Merron; Michelle Sole; Nicky Souness; Samantha Crimmin; Hugo Perrin; Taylor Cranney; Sam Edmonds; Abbey Weisbrot; Hans Lagerweij; Rogelio Espinosa; Cindy Miller Hopkins; Grange Productions; Adobe Stock

EXPEDITION BROCHURE
May 2022